

大経脈測器（JM-22402）

【禁忌・禁止】

- ・感染性皮膚疾患またはその他の感染症を有する者には、本機器の使用を推奨しない。
- ・測定部位に皮膚の損傷や疾患がある場合、その部位での使用を避けること。
- ・長時間の使用または過度な圧力をかけると、不快感を覚えるおそれがある。違和感や不調を感じた場合は、直ちに使用を中止し、少なくとも 30 分間は本機器の使用を控えること。
- ・使用中に電源が切れる、またはフリーズなどの不具合が発生した場合は、手を側面からゆっくりと引き抜くこと。

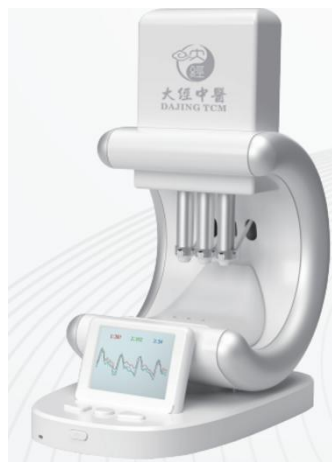
【形状・構造及び原理等】

形状・構造

外形寸法：209×122×252 mm（L×W×H）

重量：約 1.1kg。

構成：ベース、ディスプレイ、腕置き、加圧装置、圧力センサー、データケーブル等。



原理

血液が心臓の収縮により大動脈起始部に押し出されたときに発生した血管内の圧力の変化を波形として描出し、動脈の拍動に伴う脈波情報を記録し、また得られたデータから演算した測定結果等をディスプレイ上に表示する。

【使用目的又は効果】

血液が心臓の収縮により大動脈起始部に押し出されたときに発生した血管内の圧力の変化が末梢方向に

伝わっていくときの波動を圧の方式を用いて波形として描出する装置である。

【使用方法等】

1. 測定準備

- 1.1 装置を安定した平面上に設置し、電源ケーブル（USB Type-C）を接続する。
- 1.2 電源ボタンを長押しして起動する。
- 1.3 測定部位（手首橈骨動脈部）は清潔な状態とし、金属アクセサリ等を取り外す。
- 1.4 付属アプリケーションを PC またはタブレット上で起動し、USB 接続により装置が認識されていることを確認する。

2. 被験者の体位および測定姿勢

- 2.1 被験者は座位をとり、前腕を机上に自然に置き、掌を上向きに保持する。
- 2.2 前腕の下にパッドを置き、腕全体を安定させる。
- 2.3 手首を本体の腕置き部に正しく位置決めし、測定部位（寸・関・尺の 3 点）をプローブの圧力センサーに正確に合わせる。

- ・寸：手首の親指側近位部
- ・関：手関節中央部
- ・尺：小指側近位部

3. 測定操作

- 3.1 スタートボタン（またはアプリ画面上の測定開始）を押下すると、加圧装置が自動的に作動し、3 点のセンサーが一定の圧力を加える。
- 3.2 圧力センサーが脈波データをリアルタイムで収集し、装置内または PC 画面上に波形を表示する。
- 3.3 測定中は被験者の体動を抑え、安静状態を維持する。
- 3.4 測定は約 10～20 秒で終了し、データ取得が自動的に停止する。

4. 結果表示および解析

- 4.1 測定終了後、画面上に脈波形を表示する。
- 4.2 結果は自動的に保存され、測定履歴として参照できる。
- 4.3 データは CSV または画像形式で出力できる。

5. 測定後の処理

- 5.1 プローブ先端および腕置き部を清潔な布で拭き取り、必要に応じて 70%エタノールで消毒する。

5.2 測定終了後は電源を切り、ケーブルを取り外して保管する。

5.3 解析結果の閲覧および印刷はアプリケーション内で行う。

【使用上の注意】

- ・測定時は手首の位置を心臓と同じ高さに保つこと。
- ・測定中の会話、動作、深呼吸はデータノイズの原因となる。
- ・同一被験者で連続測定を行う場合は、30 秒以上の間隔を空けること。
- ・皮膚疾患、創傷、発熱、循環器疾患等を有する被験者への使用は避けること。
- ・取扱説明書を必ずご参照すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管温度：-40～+55℃

相対湿度：30～93%RH

大気圧：86～106 kPa

保管環境：腐食性ガスを含まず、通風が良好で清潔な室内に保管する。

輸送時の取扱い：輸送中は衝撃、振動、湿気を避けること。

有効期間：5 年

【保守・点検に係る事項】

機器の保守

- ・老朽化や摩耗による事故を防ぐため、一定期間使用後には機器および付属品の保守点検が必要である。機器の性能と操作の安全性を維持するため、少なくとも年 1 回は点検を行うこと。
- ・点検・修理は、メーカーまたは資格を有する認定販売業者のみが実施できる。
- ・異常が表示された場合は、機器の操作を中止すること。
- ・測定値が公差範囲を超えた場合は、認定された技術者による点検を受けること。
- ・リチウム電池の保守：完全放電（画面が真っ黒になるまでの放電）を避けること。長期間使用しない場合は、機器を涼しく乾燥した場所に保管し、バッテリー寿命を延ばすために毎週 80%程度まで充電しておくこと。

清潔および消毒

- ・注意：必ず電源を切った状態で行うこと。
- ・機器の接触部は、少量の消毒剤またはアルコールを含ませた柔らかい布で拭いて清掃すること。

- ・消毒剤は、製造元の指示に従って使用すること。
- ・機器は常に乾燥した状態を維持し、本製品を清掃する際には、いかなる洗剤、洗浄剤、溶剤も使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：株式会社 Wiselink Japan

住所：東京都大田区山王 2-1-8 山王アーバン
ライフ 201 号室

製造業者：Nanjing Dajing Traditional Chinese Medicine Information Technology Co., Ltd.

(なんじん だじゃん とらでいしょなる
ちやいにーず めでいすん いんふお
めーしょんてくのろじー りみてっど)

製造国：中華人民共和国